39 01 04 01 07 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月19日（火）

事務事業	公害対策事業	担当課	環境課	担当係	環境保全係	管理番号	3901
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野別施策名 大項目	200004 安心とやすらぎを感じられるまち（暮らし・環境）	根拠法令個別計画等	大気汚染防止法、水質汚濁防止法、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法、埼玉県生活環境保全条例				
中項目	200003 人と自然にやさしいまちづくり						
小項目	200001 自然・生活環境の保全						

事業概要	本事業は、市内の大気や河川水質等の調査監視及び公害防止、公害苦情相談の対応を行っていくものである。
目的 ※何のために	市内環境の測定、調査を行い、公害防止に活用するため。
対象 ※誰・何を対象に	一般環境大気及び大気基準適用施設中のダイオキシン類濃度、市内の河川等の水質、自動車交通騒音、公害発生箇所等を対象とする。
手段 ※どのように	業務委託により調査を実施し、必要な行政指導等を行う。
成果 ※何を求めるか	現状把握と経年変化把握のための資料活用に加え、異常値が出た場合の原因調査等への活用等、公害の防止に努める。
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	04	衛生費	01	保健衛生費	07	公害対策費	大気・水質対策事業	1,219,370
一般会計	04	衛生費	01	保健衛生費	07	公害対策費	騒音・振動・悪臭対策事業	1,054,780
一般会計	04	衛生費	01	保健衛生費	07	公害対策費	公害防止対策事業	5,793,960
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 河川水質の測定及び調査	・ 大気中のダイオキシン類濃度測定
・ 大気・水質事故関係の対応	・ 大気基準適用事業所のダイオキシン類濃度測定
・ 自動車交通騒音の監視	・
・ 騒音、振動、悪臭関係苦情の対応	・
・ 騒音、振動関係届出書の受付事務	・
・ 公害防止組織関係届出書の受付事務	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画							
事業費	予算（現額）	10,662,000	9,657,000	9,938,000	9,513,000	9,513,000	
	決算額	9,303,389	7,777,100	8,068,110	0	0	
財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	180,000	168,000	138,000	200,000	200,000	
	地方債	0	0	0	0	0	
	他特定財源	0	0	0	0	0	
	一般財源	9,123,389	7,609,100	7,930,110	9,313,000	9,313,000	
人件費	従事職員数（人）	1.96	1.96	1.52	1.96	1.96	
	人件費相当試算 ※1	15,246,840	15,252,720	12,319,600	15,970,080	15,970,080	
		0	0	0	0	0	
（総事業費試算）		24,550,229	23,029,820	20,387,710	25,483,080	25,483,080	

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名	目標値／実績値	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	河川水質調査地点数（環境基準適用河川）	目標値	地点	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	□
			実績値		4.00	4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		例年業務として予定している地点数							
		当年度に調査した地点数									
■	活動指標２	河川水質調査検体数（環境基準適用河川）	目標値	検体	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	□
			実績値		24.00	24.00	24.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		１地点において年６回（隔月）調査							
		当年度に調査した検体数									
■	活動指標３	大気ダイオキシン調査地点数	目標値	地点	9.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	□
			実績値		9.00	7.00	7.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		例年業務として予定している地点数							
		当年度に調査した地点数									
□	成果指標１	環境基準超過地点数（自動車交通騒音）	目標値	地点	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		2.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		すべての地点で環境基準を満たしていることが望ましい。							
		環境基準未達成箇所数									
□	成果指標２	環境基準超過地点数（河川ＢＯＤ）	目標値	地点	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	3.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		環境基準適用河川で基準を満たすことが望ましい							
		環境基準未達成箇所数									
□	成果指標３	環境基準超過地点数（大気中のダイオキシン類）	目標値	地点	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		すべての地点で環境基準を満たしていることが望ましい。							
		環境基準未達成箇所数									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動（意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 河川水質、ダイオキシン類ともに、計画した地点で適切に測定を実施している。
成果（意図した成果が上がっているか）	B	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 河川のＢＯＤの環境基準超過の原因は冬場の渇水期に排水起因と思われる汚濁成分が濃くなってしまったもので、その他の期間については他の地点とそれほど変わらない。
効率性（効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	環境保全係長　佐藤　秀和

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度改善・改革案	
達成状況及びその効果	

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	公害対策事業	担当課	環境課	担当係	環境保全係	管理番号	3901

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

法令等により、市の事務となっていることから、現状のまま継続するものとする。

評価者	環境課長　前野　武一

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

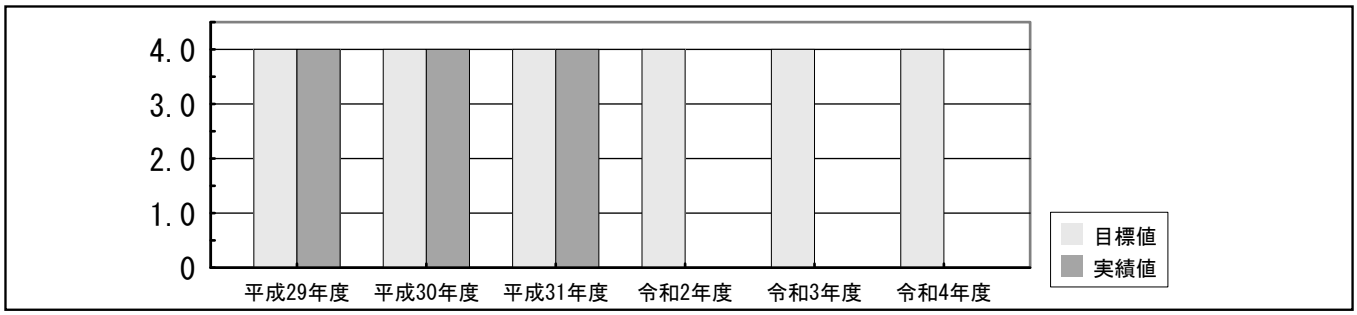
改善・改革案	

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

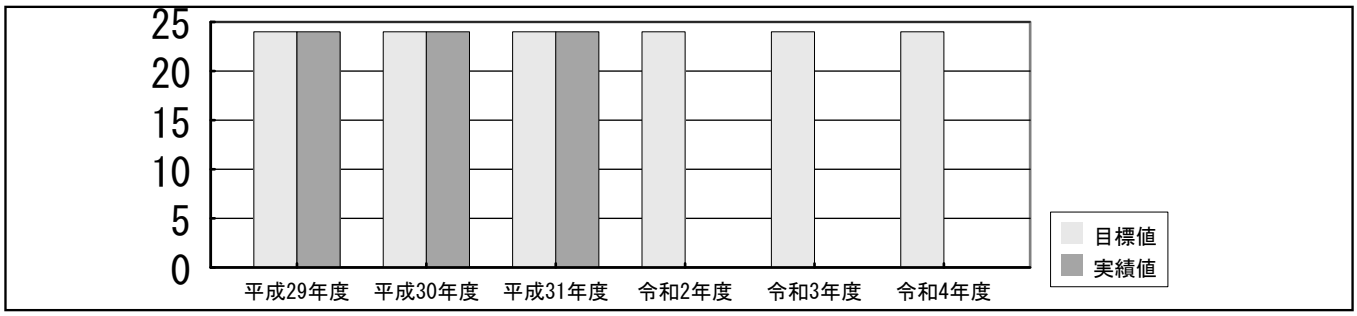
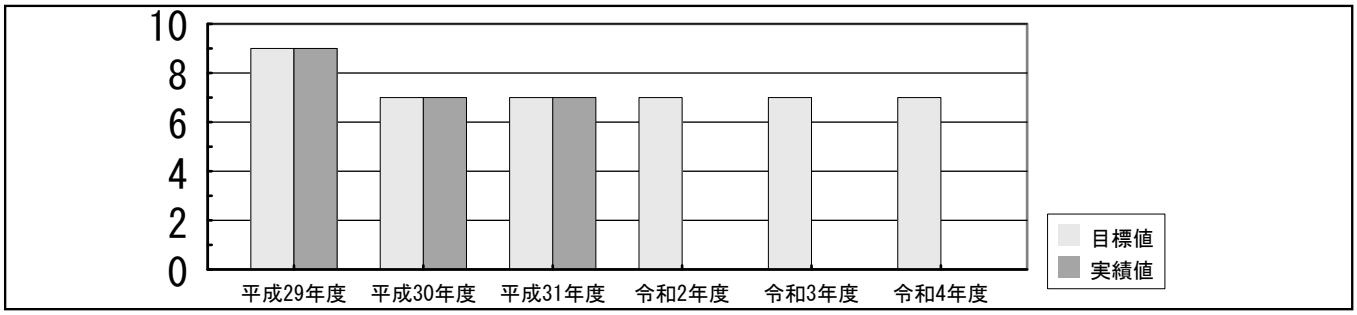
今後の課題	

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	河川水質調査地点数（環境基準適用河川）



区分	活動指標２	指標名	河川水質調査検体数（環境基準適用河川）



区分	活動指標３	指標名	大気ダイオキシン調査地点数